



地域連合

よこはま

2022年 1月18日

第230号

日本労働組合総連合会神奈川県連合会
横浜地域連合

連絡事務所 〒231-0031 横浜市中区万代町 2-4-7
横浜市技能文化会館 402号

TEL. 045-641-6262 FAX. 045-641-6252

発行責任者 高橋 卓也
編集責任者 高橋 直樹・加賀谷 護

年頭あいさつ

横浜地域連合議長 高橋 卓也

あけましておめでとうございませう。

横浜地域連合で議長を務めております高橋です。

旧年中の横浜地域連合の活動に対するご支援ご協力に心より感謝を申し上げます。

新型コロナウイルスの国内感染者が確認されてから2年が経とうとしています。

行動範囲が拡大し経済が回り始めてきたという印象はあるものの、安心して生活ができる状況には至っていません。そのような中ではあります、横浜地域連合は中止や延期を避けた活動を再開するべく慎重に検討を行っています。

今、「やるやらない」の論議ではなく、「やるためにはどうすればよいか」という論議をしています。今後はウイルスコロナとして、コロナ禍でも停滞させることなく実施してきた「政策・制度要求と提言」の取り組みは勿論のこと、街頭行動による発信、交流イベントなど強い思いをもって実施していきます。

今年も参議院議員選挙対応があります。これは横浜で働く仲間が安心して仕事と生活ができる環境づくりに繋がる大事な取り組みで

す。昨年行われた衆議院議員選挙の総括を踏まえて地区連合、構成組織と一体となつて取り組みを推進していきます。

横浜地域連合は14万人組織です。この大組織の仲間が思いを一つにして取り組むことができれば、すばら

しい結果を生み出すことができると思っております。改めて全員参加での取り組みを推進をお願いします。

今年の干支は「壬寅(みずのえとら)」で、「陽気を孕み、春の胎動を助く」、冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れ華々しく生まれ

あけましておめでとうございます。横浜地域連合の皆様が新たな年を迎えられたことを、心より喜び申し上げます。

市民の皆様への命と暮らしを守りながら、横浜経済を回復する。市長就任以来、常に私の胸にあるのは、その決意です。昨年、「新型コロナウイルス感染症対策加速化プラン」を打ち出し、おかげさまで11月初頭には、横浜市のワクチン2回接種率が8割を超えました。

病床の拡充や自宅療養者の見守り体制の充実にも力を入れ、12月にはコロナ専門病院を開院しました。今後も、ワクチンの3回目接種や医療提供体制の更なる充実に力を尽くすとともに、厳しい状況にいらつしやる皆様をしっかりと支えさせていただきます。

令和4年の年頭にあたって

誰もが自分らしさを発揮し、いきいきと安心して暮らせる街。その実現に向け、お一人おひとりに寄り添い、子育て、教育、

5月には、いよいよ、いすゞ自動車株式会社様の本社が横浜に移転し、来年度下期には、相鉄・東急直通線も開業する予定です。アフ

医療、介護や福祉分野の政策を更に充実させます。先端技術を活用したデジタル化により、市民サービスの向上、働きやすい環境づくりにつなげ、防災・減災対策、都市基盤整備も着実に進めます。横浜港の国際競争力や、みたとみらい21地区など都心臨海部の機能を一層強化させるほか、2027年の国際園芸博覧会の準備も進めます。将来を見据えた市政運営を実現するため、今後4年間の羅針盤となる「次期中期計画」、持続可能な財政運営のための「財政ビジョン」や歳出改革・新たな組織改革等を進めるための「行政運営ビジョン」を策定します。

377万人を超える市民の皆様への声を丁寧に向い、「住みたい、住み続けたい」と思っていただけ横濱、事業者の皆様から選ばれる横濱を創ってまいります。今年どうぞよろしくお願いたします。



議長 高橋 卓也



横浜市長 山中竹春

今年もよろしく

お願いいたします

議長 高橋 卓也

議長 代 行的 場 信也

議長 代 行的 秋山 純一

副 議長 小田 泰司

副 議長 高橋 徹

副 議長 高橋 直樹

副 議長 高橋 直樹

副 議長 高橋 直樹

副 議長 高橋 直樹

副 議長 高橋 直樹

副 議長 高橋 直樹

副 議長 高橋 直樹

副 議長 高橋 直樹

副 議長 高橋 直樹

副 議長 高橋 直樹

副 議長 高橋 直樹

副 議長 高橋 直樹

副 議長 高橋 直樹

副 議長 高橋 直樹

副 議長 高橋 直樹

副 議長 高橋 直樹

副 議長 高橋 直樹

副 議長 高橋 直樹

副 議長 高橋 直樹

副 議長 高橋 直樹

副 議長 高橋 直樹

副 議長 高橋 直樹

副 議長 高橋 直樹

副 議長 高橋 直樹

副 議長 高橋 直樹

副 議長 高橋 直樹

副 議長 高橋 直樹

副 議長 高橋 直樹

副 議長 高橋 直樹

副 議長 高橋 直樹

副 議長 高橋 直樹

副 議長 高橋 直樹

「2022年度に向けた 政策・制度要求と提言」について 横浜市より回答を受領!

12月24日、横浜市庁舎31階レセプションルームにて「政策・制度要求と提言（9月13日提出）」の回答書が、山中市長から高橋議長に手交された。提出した要求と提言は、経済・教育・インフラ政策など43項目に及び、個々の課題について横浜市からの考え方が示された。その後、政策委員参加による関係局からの回答に対する詳しい説明を受け、第1回政策委員会を開催し情報を共有した。



山中市長から回答を受ける高橋議長



挨拶をする高橋議長

高橋議長は手交後の挨拶の中で、「政策・制度要求と提言」は横浜地域連合14万人組織の重要な取り組みとして行っているが、毎年誠意をもって対応していた

だけ、感謝申し上げます。コロナ禍で働き方や暮らしが変わったが、たとえ収束したとしてもなかなか元通りの生活に戻るのには難しいと思われる。このような時こ

そ行政の方々の力が必要となるので、様々な対応をお願いする。また、山中市長は今年を表す漢字について、市職員と心を一つにして市政課題に取り組んできたことなどから「一」であると発表されたが、ぜひ私たち連合とも心を一つに来年以降もお願いしたい。」と述べた。

続いて秋山議長代行から経済・産業政策の項目に関連し、「財源確保のための観光復興事業」について市当局の見解を求めた。それに対し山中市長からは現状の報告、今後の方針や考え方が示された。

その後、市長を交えての意見交換が引き続き行われ、コロナ感染症の今後の見通し、それに対するワクチン接種の対策等について情報共有することができ、和やかな雰囲気の中で終了



回答式・意見交換会

次に、政策委員の参加による「回答に基づく行政との懇談会」が開催され、「新型コロナウイルス感染症について」「中学校給食について」「公契約条例について」の3項目の提言に対し、関係当局担当者からの詳しい説明を受けた。個々の項目について活発な意見交換が行われ、政策委員会として「2023年度に向けた政策・制度要求と提言」を進めていく上で有意義な会となった。

コラム「るーぷ」

皆さん、はじめまして。横浜地域連合で副議長を仰せつかっております、日産自動車労働組合横浜支部の蔵光 裕明と申します。

昨年を振り返ってみますと一番印象的な出来事は、オリンピック・パラリンピックが東京で開催されたことではないでしょうか。各種目において、日本選手をはじめとした多くのアスリートによるパフォーマンスは私たちに勇気と感動を与えてくれました。国籍や障がい垣根なく、すべてのアスリートが自分の限界に挑む姿は世界中で観戦する人の心を動かし、またボランティアなどスタッフのコロナ禍での献身的な活動が大会を支え、難しい環境の中で日本にしかできなかった大会だったのではないかと思います。今も続くコロナ禍により、多くの方々が様々な我慢を強いられ、疲弊している中において、オリンピック・パラリンピックという夢の舞台で生まれた数々の物語は、人間の素晴らしさを再認識させ、このような状況下ではあるものの、前向きな気持ちにしてくれたとも思います。人々が持つどんな困難にも乗り越えることのできる力と英知によって、一刻も早いコロナの終息を実現し、こうした明るい話題が今年も多くあることを願うとともに、横浜地域連合に集う皆さんと安心・安定した社会の実現に向けて、共に取り組んでいきたいと思います。



副議長
蔵光 裕明